

オリンピック・パラリンピック教育



ユメセンサーキット 2018



5月11日、本校5年を対象に、坪井 保菜美 氏(※1)と川股 要祐 氏(※2)をお招きし、「夢の教室」を開催しました。

内容は、前半がチームワークゲームでした。チームワークゲームは川股氏が子供たちに課したゲームを、チームほっち(子供たちと坪井氏)でクリアするというものでした。みんなで協力しないとクリアできないゲームに苦戦しながらも、ほっち(坪井氏)を中心にどうしたらクリアできるか子供たちで話し合い、何度も挑戦し、クリアできました。

後半は坪井氏との夢トークでした。夢トークでは、坪井氏が取り組んできた新体操の経験談や体験談を通じて、子供たちに夢をもつことの大切さを話してくださいました。それを受けて子供たちは、自分の夢は何であるのか、そのためにどんなことができるのか考えました。また、今好きな事や得意なことについても考え、自分を見つめる貴重な時間になりました。そして、夢に向かって進む大切さだけでなく、前半のチームワークゲームを振り返ることで、助け合うことの大切さについても学ぶことができました。最後に、子供たちは自分の夢を発表し合い、とても生き生きとした表情で授業を終えました。

※1 坪井 保菜美 氏

2008年 北京オリンピック 新体操日本代表

2009年 世界新体操選手権大会 種目別決勝4位入賞

※2 川股 要祐 氏

2004年 JFL 群馬ホリコシに加入

2007年 湘南ベルマーレに移籍

2009年 フットサル バルドラール浦安に加入

チームワークゲーム（「だるまさんが転んだ」と似たゲーム）

全員が互いに手を繋いで進み、ゴールラインを全員が越えることができればクリアとなる。

ボールが空中にある間だけ進むことができ、それ以外の時に動いたらスタートからやり直しとなる。



ゲームが始まる様子

始めはスタートに戻ってばかりでした。



クリア目前の様子

この後、無事クリアできました！



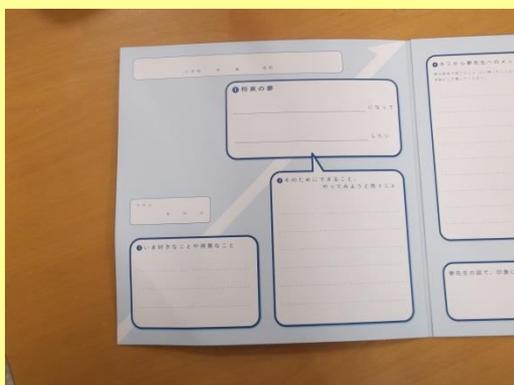
坪井氏と子供たちで作戦会議

みんな真剣です。



夢トークの様子

夢をもつことの大切さを話してくださいました。



自分の夢や好きなこと、得意なこと、
今できることについて書きました。



自分の夢について発表し、
お互いの夢を伝え合いました。

◇「ZOJIRUSHI ユメセンサーキット 2018」は、象印マホービン株式会社協賛のもと 2013 年度よりスタートしており、本年度は「ZOJIRUSHI ユメセンサーキット 2018」として全国 10 カ所で開催される。全国の小学校に夢先生を派遣し、日本サッカー協会が実施している、子どもたちに「夢を持つことの大切さ」を伝える JFA ころのプロジェクト「夢の教室」に加え、象印マホービン株式会社の推進する「熱中症対策（水分・塩分補給の大切さ）」啓発活動を行うもの。

◇ユメセン『JFA ころのプロジェクト』は、「子どもたちの心身の成長に寄与したい」という主旨で、日本サッカー協会が 2006 年 2 月に立ち上げたプロジェクト。同 11 月には JFA 内に「JFA ころのプロジェクト推進室」を設置し、2007 年 4 月より本格スタートを切った。このプロジェクトは、元日本代表選手、現役 J リーガー、なでしこリーグ、JFA、F リーグの選手、その OB/OG や、多種目のスポーツ選手の現役、OB/OG などの協力を得て、彼らを「夢先生」として小学校に派遣し、「夢の教室」と呼ばれる授業を行うもの。授業では、夢を持つことの大切さを伝えるとともに、助け合うことの大切さや夢に向かって進むくじけない心などについて、ディスカッションをしながら子どもたちと交流を深める。